

災害列島 2006

2005年の日本、災害は繰り返された。

九州北部のマグニチュード7.0クラスの大地震は、

この地域では1884年の観測開始以降初めてだった。

台風14号は全国61箇所の観測点で観測史上最高の日雨量を記録した。

東北・北陸の豪雪では12月の積雪が最深記録を更新した。

四国は湯水で早明浦ダム(吉野川)の貯水率が0%になった。

そのほか、宮城県沖の地震、東京都心の集中豪雨など災害が多発した。

一方、海外に目を転じると、米国はニューオリンズのハリケーン「カトリーナ」、

パキスタンの大地震が史上最大級の被害をもたらし、世界を震撼させた。

災害は突如として我々を襲う。

ここに掲載された災害の記録から我々が学ぶべきことは、

被災時・緊急時の対応、危機管理体制の構築はもちろん、

平時から防災意識を持ち被災時に備えることだろう。